

競 技 注 意 事 項

【運営について】

- 1 本大会は、2026年度日本陸上競技連盟競技規則と大会要項により運営する。
- 2 大会中に発生した事故・傷病については、大会本部は応急処置まで行うが、以後の責任は負わない。

【競技服装・靴について】

- 3 参加者は必ずチーム名を明記したカードを胸部につけること。
- 4 競技場は全天候型トラックなので、スパイクシューズの使用を認める。
ただし、長さ9mm以内(走高跳は長さ12mm以内)の平行ピンを使用すること。土ピンは使用不可とする。
- 5 火傷等負傷防止のため、素足での競技は禁止する。
- 6 競技用シューズの靴底の厚さは最大20mmとする。
また、シューズの前の部分のソールの厚さは、かかと中心部のソールの厚さを超えてはならない。
ただし、中学生の砲丸投については、靴に関する制限をしない。

【招集について】

- 7 100mスタート地点付近に招集所を設置する。設置した招集所にて招集を行う。
- 8 選手は招集所にて必ず招集による点呼を受けること。
招集完了時刻までに点呼を受けなかった者は競技に参加できない。各チーム遅れないよう行動すること。
- 9 招集は、プログラム記載の招集完了時刻の10分前を目安に開始する。
- 10 招集を終えた選手は競技者係の指示に従い、スタート地点へ移動すること。
- 11 同じ時間帯に2種目以上の競技に出場する者は多種目同時出場届を招集所に提出すること。
移動する場合は現地の競技役員にその旨を申し出ること。種目はトラック種目を優先すること。

【競技場について】

- 12 競技場内練習は 7:30～ 8:25とする。
この時間帯は会場の設営を行っているため、ぶつかるなどの事故が発生しないように注意すること。
- 13 事故防止のため、トラックの逆走は禁止とする。戻る場合はトラックの外側を回って戻ること。
- 14 審判の妨げになるため、フィニッシュライン付近の通行は禁止する。競技場外側のゲートを使って移動すること。
- 15 競技場外、競技場屋内通路は、シューズ保護、施設保全のため、スパイクシューズでの通行は禁止とする。

【開会式について】

- 16 開会式は8:30に行うので、必ず参加すること。
ただし、招集完了時刻が9:10までの種目の出場者は招集を優先し参加しなくてもよい。

【競技について】

- 17 各種目、プログラムに記載の組、レーン、試技順の通りに行う。
- 18 トラック種目のスタートはイングリッシュコマンドにて行う。
400mまでの種目 「On your marks(オン・ユア・マークス)」→「Set(セット)」→号砲
800m以上の種目 「On your marks(オン・ユア・マークス)」→号砲
- 19 写真判定装置にて1/100秒まで記録が同じ場合は、1/1000秒単位の実時間を比較して順位を決定する。
1/1000秒単位まで記録が同じ場合は同順位とする。
- 20 各ハードル種目は以下の通りに実施する。

	高さ	台数	スタートから 1台目	ハードル間	最終ハードル からフィニッシュ
小学5・6年 80mH	70.0cm	9台	13.00m	7.00m	11.00m
中学男子 110mH	91.4cm	10台	13.72m	9.14m	14.02m
中学女子 100mH	76.2cm	10台	13.00m	8.00m	15.00m

- 21 競技結果は、正式結果確定後、正面玄関前の記録掲示板に掲載する。
併せて、三次市陸上競技協会ホームページ上にインターネットによる速報の公開を行う。

【リレー種目について】

- 22 リレーの走順はリレーオーダー用紙に走順を記入し、**競技開始の1時間前**までに招集所に提出すること。
リレーオーダーを提出していないチームは競技に参加できない。
- 23 大会に参加の選手であればリレーにエントリーされていなくてもリレーの走者にする事ができる。
ただし、最大2名までとし、リレーオーダー用紙に当該選手の出場種目と組を明記して提出すること。
- 24 リレーオーダー用紙提出後、リレーの走順、走者の変更はできない。
ただし、負傷や熱中症等により、医務員が競技続行不可能と判断した場合は当該走者の変更のみ認める。
医務員診断書を持参し、招集完了時刻までに招集所へそのことを申し出ること。
- 25 リレー種目はテイクオーバーゾーン内(▲から▼の間)で待機すること。ゾーン外で待機すると失格となる。

【表彰について】

- 26 各種目3位まで表彰があるので、結果のアナウンス後3位以内に入賞した選手・チームは速やかに表彰者待機所(正面玄関入ってすぐのロビー)に集合すること。代理人による表彰も可とする。

【 応援・観戦について 】

- 27 スターターが台上がったら、静かにすること。
- 28 競技の公平性、安全性確保の観点から、競技場内(コンクリート境界内側)での応援・撮影は禁止する。観客席スタンドまたは、競技場コンクリート境界外側の芝生スタンドから応援すること。違反した場合は、嚴重注意、失格等の処置をとることがあるため、注意すること。
- 29 盗撮防止のため、競技者に正対する構図での撮影は禁止とする。
- 30 貴重品は各チームの責任の下で管理すること。
- 31 スタンド周辺は清潔な状態にし、ごみは各チームで持ち帰ること。

【 小学生種目について 】

- 32 トラック種目において、2回不正スタートを行った者は失格とする。
1回目 黄／黒 のカードを掲示。
2回目 赤／黒 のカードを掲示。
- 33 800mは最初からオープンレーンとする。
- 34 小学生男女混合4×100mRのリレーオーダーは男子2名、女子2名で必ず編成すること。
- 35 走幅跳・ジャベリックスローは2回の試技とする。
- 36 走高跳は「はさみ跳び」による跳躍とし、試技を2回連続で失敗した時点で競技終了とする。競技者安全の観点から「背面跳び」は禁止する。
- 37 ジャベリックスローの助走は15m以内とする。

【 小学生コンバインド種目について 】

- 38 コンバインド種目は以下の種目の記録の合計点で順位を決定する。
得点は「JAAF 小学生コンバインド種目得点表(2022年度改訂)」に基づき採点する。
コンバインドA 80mH → 走高跳
コンバインドB ジャベリックスロー → 走幅跳
- 39 同点は同順位とする。
- 40 80mH、走幅跳それぞれの風速はコンバインド種目の得点、順位に考慮しない。
- 41 100点以下の記録はすべて100点とする。
- 42 1種目めを欠場した選手は途中棄権したものとみなし、2種目めは参加できない。
- 43 スタートまたは試技を行い、結果が記録なし、途中棄権、失格となった場合は50点とする。
- 44 欠場、棄権は0点とする。

【 広島県小学生陸上競技交流大会について 】

- 45 5年男子、6年男子、5年女子、6年女子各100m、5・6年男子、5・6年女子各コンバインド種目、5・6年男女混合4×100mRは”日清食品カップ 広島県小学生陸上競技交流大会”の予選会を兼ねる。5・6年男女混合4×100mRは上位3チーム、その他個人種目は上位9名が出場権を得る。
- 46 広島県小学生陸上競技交流大会の申込はリレーを含め、一人1種目のみとする。

【 中学生種目について 】

- 47 トラック種目において、不正スタートを行った者は失格とする。
- 48 800mは第2コーナー出口までセパレートとし、以降はオープンレーンとする。
- 49 走幅跳、砲丸投の試技は3回とし、8位以内の者ははさらに3回試技を行うことができる。
- 50 走幅跳、砲丸投の4回目以降は3回目まで時点8位、7位、6位、…、1位の順で試技を行う。
- 51 走高跳は試技を3回連続で失敗した時点で競技終了とする。
- 52 中学生については団体表彰を行う。男女各3位までのチームを閉会式にて表彰する。
- 53 各種目8位までを入賞とし、1位8点、2位7点、…、8位1点を与える。同順位は点数を平均で案分する。